

<若手研究者・大学院生の集い>

JSA 夏の学校 2010 in 福井

～ 原発問題と日本の科学者 ～

主催：日本科学者会議(JSA)若手夏の学校 2010 実行委員会
1stCircular

日時：2010 年 9 月 8 日 (水) ～ 10 日 (金)

10 日 13:30 現地(福井駅近郊)にて解散予定。

宿泊

・1 日目 少年自然の家

〒914-0145 福井県敦賀市野坂 80-15 0770-24-0052
JR 小浜線「粟野」駅より徒歩約 25 分

・2 日目 宝永旅館

〒910-0004 福井県福井市宝永 3-7-16 0776-22-5204
JR 北陸本線「福井」駅より徒歩約 7 分

集合：9 月 8 日 12 時 30 分 @JR 敦賀駅 改札付近集合

昼食は各自済ませた上で、ご集合下さい。

集合後、JR 粟野駅まで移動します。現地まで、電車で来られる方は、「粟野駅」までの切符をご購入下さい(なお、昼食などのため、一度改札を出られる際には、駅員にご相談下さい)。

参加費：8,000 円 (現地にて徴収いたします)

現地(集合：敦賀駅・解散：福井駅)までの往復交通費、および 2 日目の昼食代(1,000 円程度)が別途必要となります。それ以外の交通費、宿泊費、二日目・三日目朝食代、一日目夕食代、二日目懇親会費は参加費に含まれます。

各都道府県の JSA 支部から、交通費などの援助がある場合がございます。援助の有無については各県の支部(支部の連絡先が分からないときは、全国事務局が取り次ぎます)にお問い合わせください。

懇親会などの都合上、参加費が若干変動することがございます。

参加申し込み・お問い合わせ先

日本科学者会議 (JSA) 全国事務局

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 茶州ビル 9F

Tel : 03-3812-1472 Fax : 03-3813-2363 <http://www.jsa.gr.jp/>

E-mail : [natsunogakkou アットマーク jsa.gr.jp](mailto:natsunogakkou@jsa.gr.jp)

参加申し込みは、E メール、または FAX を送信ください。申し込み方法については、本紙の 4 ページ目を御参照ください。

1. 校長あいさつ

今年も「夏」がやってまいります。「夏の学校」は、様々な地域、研究分野に属する若手研究者が一堂に会し、交流を深める恒例企画です。

院生、ポスドクといった若手研究者の将来への不安、研究環境の厳しさは、大学改革の流れのなかで近年ますます悪化している実情があります。こうした若手研究者を取り巻く環境的变化を甘んじて受け入れるだけでなく、自ら変えていこうと連帯し、運動していくこともまた大切です。「夏の学校」はそのような問題意識をふまえ、日常の専門研究を超えて、お互いの研究に対する熱意や悩みを語り合い、これからの科学の発展について積極的に議論していく場にしていきたいと思っております。

また「夏の学校」では、現代社会における科学者の役割を考えるため、時代の課題に対応して、フィールドワークを中心とする研究企画を行います。今年のフィールドワークは「原発問題をどう考えるのか？～原発と地域社会～」をテーマにします。

地球温暖化問題は近年政治的にもますます重要度を増しており、昨夏の政権交代後には鳩山政権によって温室効果ガスの90年比25%削減という目標が発表されるなど、自民党政権との違いが強調されてきました。しかし同時に、原子力重視のエネルギー政策は自民党時代から引き継いでいます。

折しも今年5月6日に、1995年のナトリウム漏れ事故以来14年以上にわたって停止していた高速増殖炉もんじゅが、運転を再開しました。しかし、原子力利用が進む一方での安全性は本当に確保できるのでしょうか。また、もんじゅの事故は隠ぺい体質など原子力行政の問題点を浮き彫りにしてきました。こうした問題は、解決されたのでしょうか。

今年の「夏の学校」では、(1)もんじゅをはじめとして原発施設が集まる敦賀湾に実際に足を運び、特に原発と地域社会との関係を中心にこうした問題点を再考します。さらには、環境問題、エネルギー問題に対して科学者はどのようにふるまうべきなのか、ということも議論していきたいと思っております。(2)現在の大学院生・若手研究者を取り巻く状況が日々過酷になっているなかで、若手自身がその打開に取り組む可能性について考えます。(3)研究交流をおこない、研究のモチベーションを高め、視点を広げる場をつくります。

全国の皆さんの積極的な参加をお待ちしております。

山口祐司（大阪支部・大阪市立大学分会）

2. 企画概要

タイムスケジュール

	午前	午後	夜
8日(水)		12:30 現地集合 14:00～14:45【開校式】 14:45～17:30【研究交流会】	18:30～20:30 【FW講演会】
9日(木)	8:45～12:30 【FW：もんじゅ・美浜原発見学】	14:30～17:30 【FW：現地の方と意見交換】	18:00～20:30 【懇親会】
10日(金)	10:00～13:00 【ディスカッション企画】	13:00～13:30【閉校式】 13:30 現地解散予定	

企画概要

9月8日(水)

研究交流会「院生楽ありゃ苦もあるさ」

学術研究が高度な発達を遂げるにともなって、隣の研究者が何をやっているのか分からないという程に多様化し、細分化されています。一方、近年の新自由主義的な諸改革は、学術研究の領域に市場主義的競争を持ち込みました。その中で大学院生は互いに、研究集団としての仲間ではなく、論文競争の敵手としての個人に分断され、孤立せざるを得ない状況になりつつあります。

このような情勢の中でも、日本科学者会議をベースとして新たな連帯の試みがすすめられています。夏の学校に代表されるような各種研究会での学習・交流の機会形成です。特に近年始められ、これまで3回行われている「春の学校」では、各々が研究内容を報告し、質疑応答をもうけるという至極単純な企画が成功をおさめています。共に JSA で活動する仲間の前で報告し、質問や疑問に答える中で互いの研究のモチベーションを確かめ合う良い機会になっています。また、他の院生の研究内容に興味を持って参考にすることにより、対象は違えども、手法等の参考になる部分が少なからずあるのではないのでしょうか。

今回の夏の学校で、研究交流の場を設け、お互いの交流のきっかけにできればと思います。

原発学習講演会...講師：福井大学名誉教授 山本富士夫先生

フィールドワークに先立ち、原子力発電所に関する知識をつけることを目的に行ないます。

原発の安全性を議論する上でも、発電の仕組みがわからなければ、何が危険なのか理解することができません。

フィールドワークで見学予定のもんじゅは、プルトニウムを燃やすための高速増殖炉という一般的な原子力発電所とは異なった原子炉を持っています。一般の原発に限らず、もんじゅの目的や危険性についても講演していただきます。

9月9日(木)

フィールドワーク

フィールドワークでは、日本原子力研究開発機構の高速増殖炉もんじゅと、関西電力美浜発電所(原子力発電所)を訪れます。もんじゅは1995年にナトリウム漏れ事故を起こしましたが、今年から運転を再開しています。美浜原発では1991年に蒸気発生器の細管が破断する事故が起こり、2004年には蒸気漏れにより5名が亡くなる事故が起こっています。

事故と事故後の安全対策について話を聞くとともに、いかなるPRが行われているのかといったことをはじめとして、立地場所と周辺環境との関係など、現場にいて見聞を深めていきます。

地元の方々との交流会

敦賀・美浜・高浜など、福井県には多くの原子力発電所が存在しています。1980年代から原発反対運動に関わってこられた児玉一八さんから、原発に依存した地域振興の実態を話していただきます。また別の方に、反対運動を続けている思い、もんじゅの設置をどう受け止めたのかなどを話していただきます。

日本政府が原発への依存をさらに強めようとしています。日本のエネルギー政策に対して、参加者一人一人がどのような立場に立つか考えることのできる場にしたいと思います。

9月10日(金)

JSA 若手問題シンポジウム「若手研究者の成長とつながり」

近年、若手 JSA 運動は関東を中心に、新たな高まりをみせつつあります。一方、中部・関西など地方の運動は、担い手不足に悩まされており、十分な活動ができているとはいいがたいです。このような地域では、運動の経験が十分に継承できておらず、そもそも JSA 運動のイメージをもつことが困難な状況にあります。

そこで本企画では、現在の院生・若手研究者の成長にとって、JSA 運動に関わることはいかなる意味をもつのか、またその条件とは何かということ、関東を中心とする近年の若手運動に学びながら、再考していきたいと思えます。とりわけ、個人作業になりがちな研究者が、あえて JSA という集団(つながり)を形成することの現代的意義について、深めていきたいと考えています。

参加申込用紙

以下に必要事項を記入して、8月20日(金)までにEメールまたはFAXでお申込ください。企画の内容に関するお問い合わせも受け付けます。

ご氏名(ふりがな)

所属大学・研究科など

専攻分野

メールアドレス

なお、以下の項目は宿泊並びにフィールドワークで必要となります。併せてご連絡ください。これらの個人情報、今回の夏の学校における宿泊・フィールドワーク以外では一切使用いたしません。

現住所

電話番号

性別(当てはまるものを で囲んでください) 男 ・ 女 ・ その他

(食物アレルギーをお持ちの方のみ) アレルゲンとなる食品・食材

その他ご要望など